

半の年代が推定される。また、錢貨は寛永通寶を中心に、一部に中世の渡来錢や一朱銀や一分銀が含まれている。

また、錢貨の出土状況からは用水路廃絶期に水神に対して、錢を収めるといふ強い信仰の現れとも考えられる。

本用水は明治十九(二八八六)年に廃棄、埋められたと伝えられている。今回の調査では、明治時代後半期の陶磁器や錢貨などが出土しなかったことから、この事実を裏付けている。